

『どでかい教師』になる

私はこの三年間を通して、人として大きく成長することができたと感じています。学問はもちろん大切ですが、それだけではなく、相手を思いやる気持ちや、笑顔での挨拶、日々の掃除など、人として大切なことを学ぶことができました。

これらの経験を生かし、大学生活でも周りの人から信頼され、応援してもらえるような人間になれるよう努力していきたいと思います。

私は中学生の頃から教師になりたいという思いを持っていました。しかし、当時は勉強についていくことができず、そんな自分が教師として子どもたちに教えることは難しいのではないかと思い、一度はその夢を諦めてしまいました。

それでも、高校に入学してから、理事長や野球部の先生から「教師ほどやりがいのある仕事はない」という話を聞き、もう一度、自分の志に挑戦したいと思うようになりました。

何より、教師という仕事についてこれほど楽しそうに語る大人に出会ったことがなかったため、きっと本当に魅力のある仕事なのだと感じるようになりました。

野球部での活動も、私にとって大きな学びの場でした。高校野球には、仲間と支え合いながら努力すること、礼儀や規律を大切にすること、困難の中でも諦めず挑戦し続けることなど、多くの教育的価値があると感じています。厳しい練習や試合を通して、人として大切な姿勢を学ぶことができました。

そして、この高校生活の中で、私には目指したいと思える先生方に出会うことができました。その先生方の背中を追いかけて、先生方が学ばれた大学で学び、いつか『どでかい教師』になりたいと思っています。そして、将来は、その先生方と同じ志を持つ、『教志』として、子どもたちの成長を支えられる存在になりたいです。